

平成 30 年度乳がん検診実施状況調査結果

ピンクリボンかがわ県協議会メディカルネット

目的

香川県の乳がん検診の受診率は、国民生活基礎調査で 49.3% (平成 28 年度)、地域保健・健康増進事業報告で 22.3% (平成 29 年度) と、それぞれの調査方法や対象が異なるため一致しない。

このため、県内における乳がん検診の実態把握を目的に、マンモグラフィ設置機関に対して実施状況を調査・検討した。

対象および方法

1. 調査施設

県内のマンモグラフィ保有施設 41 施設

2. 調査内容

平成 30 年度分の乳がん検診実施状況

①マンモグラフィ検査実施数とその成績

②乳房超音波検査実施数とその成績

③実施体制(マンモグラフィと乳房超音波検査、視触診の実施の有無、撮影方法など)

結果

1. アンケート回収率は 100% (41 施設) であったが、5 施設で要精密検査数、9 施設でがん発見数の無記入がみられた。

2. マンモグラフィ実施数は、53,831 人、うち保険診療を除く検診実施数が 48,145 人、要精検者数 2,242 人 (要精検率 4.7%)、がん発見数 93 人 (がん発見率 0.19%) であった。(表 1)

3. 乳房超音波検査実施数は、19,127 人、うち保険診療を除く検診実施数が 5,827 人、要精検者数 193 人 (要精検率 3.3%)、がん発見数 9 人 (がん発見率 0.15%) であった。(表 1)

4. マンモグラフィ・乳房超音波検査の併用実施の合計数は 32,451 人、うち保険診療を除く検診実施数が 19,376 人、要精検者数 787 人 (要精検率 4.1%)、がん発見数 104 人 (がん発見率 0.54%) であった。(表 1)

5. 前回調査との比較 (表 2)

マンモグラフィ実施数は平成 20 年度に比し約 1.3 倍に増加し、乳房超音波検査実施数は、約 2.6 倍に増加している。

6. 実施体制について

①マンモグラフィの撮影方法 (表 2)

全例 MLO+CC の 2 方向撮影 17 施設

MLO または MLO+CC 24 施設

②マンモグラフィと乳房超音波検査の併用

全例併用 7 施設

マンモグラフィ単独 5 施設

乳房超音波検査を一部併用 29 施設

受診者の希望で実施 23 施設

初回受診時に実施 1 施設

有所見時に実施 3 施設

実施主体との契約により実施 4 施設

③視触診の実施について

視触診単独 0 施設

マンモグラフィと一部併用 16 施設

全例マンモグラフィと併用 4 施設

視触診併用の実施基準

受診者の希望で実施 4 施設

実施主体との契約により実施 7 施設

考察・まとめ

今回 6 年ぶりに調査を行い、平成 20 年以降、検査総数の増加や実施体制が充実していることが分かった。また、マンモグラフィと乳房超音波検査の実施については、併用実施でがん発見数 (がん発見率) が高いことが判明した。

一方で、マンモグラフィと乳房超音波検査、視触診の併用など組み合わせのバリエーションが多いことや、総合判定を行っている施設、行っていない施設など様ざままで、マンモグラフィと乳房超音波検査を分けて集計することが困難な状況にあった。このことが、回答欄に記入しにくい要因の一つだと感じた。

今後の課題として、設問内容を医療機関と検診機関で変えるなど、調査結果の正確性を図りたい。また、調査結果については、調査協力いただいた 41 施設及び関係機関へのフィードバックを行い、県内の乳がん検診受診率向上及び精度管理に役立てていきたい。

表 1 平成 30 年度分乳がん検査実施体制調査結果

	検査総数 d+c	保険診療の数 d	検 診				
			合計 c	住民健診 a	住民検診以外 b	要精検数 e (e/c%)	がん発見数 f (f/c%)
マンモグラフィ検査実施数	53,831 人	5,841 人	48,145 人	20,451 人	27,694 人	2,242 人 (4.7%)	93 人 (0.19%)
乳房超音波検査実施数	19,127 人	12,939 人	5,827 人	1,175 人	4,652 人	193 人 (3.3%)	9 人 (0.15%)
併用検診実施数 (マンモグラフィ+乳房超音波)	32,451 人	13,173 人	19,376 人	10,651 人	8,725 人	787 人 (4.1%)	104 人 (0.54%)
合計	105,409 人	31,953 人	73,348 人	32,277 人	41,071 人	*1 3,222 人 (4.4%)	*2 206 人 (0.28%)

*1 要精密検査数記載なし 5 施設

*2 がん発見数記載なし 9 施設

表 2 前回調査との比較

調査内容		H20 年度実施分	H30 年度実施分
検査総数	マンモグラフィ	64,317 人	86,282 人
	乳房超音波	19,637 人	51,578 人
保険診療	マンモグラフィ	16,935 人	19,014 人
	乳房超音波	不明	26,112 人
住民検診	マンモグラフィ	22,119 人	31,102 人
	乳房超音波	不明	11,826 人
ドック・職域	マンモグラフィ	22,231 人	36,419 人
	乳房超音波	不明	13,377 人
分類不能	マンモグラフィ	3,032 人	0 人
	乳房超音波	19,637 人	0 人
撮影方法	全例 MLO+CC	14 施設	17 施設
	MLO のみ	3 施設	0 施設
	MLO または MLO+CC	16 施設	24 施設
MMG 設置台数 (うち日医放射線学会の使用基準を満たすもの)		40 台 (39 台)	47 台 (47 台)
乳がん検診用超音波装置設置台数 (うち JABTS が推進している周波数を満たすプローブを使用する台数)		39 台 (27 台)	74 台 (61 台)
マンモグラフィ読影医師数 (うち精中委認定医師)		93 人 (86 人)	120 人 (105 人)
マンモグラフィ読影技師総数 (うち精中委認定技師)		121 人 (79 人)	140 人 (115 人)
乳房超音波検診に携わる医師数 (うち JABTS 講習受講者数)		51 人 (7 人)	65 人 (15 人)
乳房超音波検診に携わる技師数 (うち JABTS 講習受講者数)		29 人 (3 人)	90 人 (25 人)